

# 気候関連開示（公開草案） 産業別開示要求 【航空宇宙及び防衛（RT-AE）産業編】

2022年6月

SSBJ設立準備委員会 事務局

※不許複製・禁無断転載：  
公開草案の原文及び日本語仮訳は、IFRS財団の著作物となります。  
複製及び使用の権利は厳しく制限されております。

- ❖ 本資料は、2022年3月31日にIFRS財団から公表されたIFRS S2号公開草案「気候関連開示」の付録B「産業別開示要求」のうち、**航空宇宙及び防衛 (RT-AE)産業に関連する部分の概要**についてご説明することを目的としています。
- ❖ 本資料では、当該付録B「産業別開示要求」に関し、以下の事項について記載しています。
  - ▶ 産業別開示要求の構成
    - ▶ 指標の**技術的プロトコル**（定義、範囲、適用及び調製に関するガイダンス）において、「shall（～しなければならない）」「shall not（～してはならない）」と記載されている事項を**太字**で記載しています。
    - ▶ 上記以外の事項でも、当該事項に即した開示を行うに際して**特に有用であると当事務局が判断した事項**を記載しています（そのため、すべての事項について記載しているわけではありません）。
  - ▶ 産業別指標を開示するまでの流れ

本資料は、IFRS財団のホームページにおいて公表された当該付録B「産業別開示要求」の日本語仮訳をもとに、SSBJ設立準備委員会事務局が作成したものです。

本資料における意見に係る部分は、あくまでも当委員会のスタッフ個人の見解であり、当委員会の公式見解ではございません。

## S2基準案の付録B「産業別開示要求」は、産業ごとに以下が記載されている

<b>産業の説明</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>❖ 関連するビジネスモデル、基礎となる経済活動、一般的なサステナビリティ関連の影響 (impacts) 及び依存関係 (dependencies) 、並びに当該産業への参加に特徴的な他の共有される特徴を定義することにより、適用範囲を明確にすることを意図している</li></ul>
<b>開示トピック及びトピックサマリー</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>❖ 開示トピックとは、特定の産業内の企業によって行われる活動に基づいて、特定のサステナビリティ関連のリスク又は機会を定義するもの</li><li>❖ 経営又は経営の失敗が企業の企業価値にどのように影響するかについての簡単な説明 (トピックサマリー) が含まれる</li></ul>
<b>指標</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>❖ 開示トピックに付随し、個別に又は1セットの一部として、特定の開示トピックのパフォーマンスに関する有用な情報を表示するように設計されている</li></ul>
<b>技術的プロトコル</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>❖ 定義、範囲、適用及び調製に関するガイダンスを提供する</li></ul>
<b>活動指標</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>❖ 企業による特定の活動又はオペレーションの規模を定量化するもの</li><li>❖ データを正規化して比較を容易にするため、指標と組合せて使用することを意図している</li></ul>

**産業名  
(68産業)**

衣服、装飾品及び履物

**産業の説明**

産業に関する記述

「衣服、装飾品及び履物」産業には、男性用、女性用及び子供用の衣類、ハンドバッグ、宝石、時計及び履物を含むさまざまな製品の設計、製造、卸売及び小売に関わる企業が含まれる。製品の大部分が新興市場のベンダーによって製造されることにより、この産業に属する企業が主として設計、卸売、販売促進、サプライ・チェーンの管理及び小売といった活動に焦点を当てることを可能にしている。

サステナビリティ開示トピック及び指標

表 1. サステナビリティ開示トピック及び指標

**開示トピック**

**指標**

トピック	指標	カテゴリー	測定単位	コード
	優先原材料の調達に関連する環境及び社会リスクの記述	説明及び分析	該当なし	CG-AA-440a.1
原材料調達	環境又は社会サステナビリティ基準（又はこの両方）の第三者認証を受けた原材料の割合（基準ごとに）	定量	重量ごとのパーセンテージ(%)	CG-AA-440a.2

「衣服、装飾品及び履物」産業は、綿、革、羊毛、ゴム、並びに貴重な鉱物及び金属など、最終製品の主要なインプットとして多数の原材料に依存している。

気候変動、土地利用、資源不足、及び当該産業のサプライ・チェーンが事業を展開する地域での紛争に関連するサステナビリティの影響(impacts)は、産業において原材料を調達する能力をこれまで以上に形成している。

潜在的な原材料不足、供給停止、価格変動及び風評リスクを管理する企業の能力は、透明性に欠けることが多いサプライ・チェーンを通じて地理的に多様な地域から原材料を調達するため、さらに困難になっている。

この問題の効果的な管理を行わないことは、**利益の減少、収益成長率の抑制又は資本コストの増加（又はこれらのすべて）につながる**可能性がある。さまざまな原材料を調達することに関連するリスクの種類に応じて、サプライヤーへの関与、透明性の向上、認証基準の使用又は革新的な代替原材料の使用（又はこれらのすべて）を含め、さまざまな解決策が必要になる可能性がある。

最も積極的な企業は、**ブランドの評判を向上させ、新しい市場機会を開拓する一方で、価格変動や潜在的な供給停止にさらされるリスクを減らす**可能性が高い。

コード： CG-AA-440a.1	指標： 優先原材料の調達に関連する環境及び社会リスクの記述	測定単位： 該当なし
1  1.1	<p>優先原材料の調達から生じる環境及び社会リスクを管理するための戦略的アプローチを説明する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 優先原材料：企業の主要製品に不可欠なもの</li> <li>• 主要製品：過去3会計年度のいずれかにおいて連結売上高の10%以上を占めたもの</li> </ul>	
2	企業が優先原材料をどのように識別したかに関する方法を含める	
4	優先原材料は、当該原材料を直接購入したか、サプライヤーを通じて購入したかに関わらず開示する	
7	<p>綿花を優先原材料の一つとして識別した場合、以下を説明する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 水ストレスのある綿花栽培地域に対する脆弱性</li> <li>• これらの地域から綿花を調達することによる価格変動のリスクをどのように管理しているか</li> </ul>	

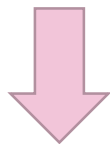
コード	活動指標	カテゴリー	測定単位
CG-AA-000.A	(1)Tier 1サプライヤーの数	定量	数
	(2)Tier 1の先のサプライヤーの数	定量	数

- Tier 1サプライヤー：報告企業と直接取引するサプライヤー
- Tier 1の先のサプライヤー：報告企業のTier 1サプライヤーにとって重要なサプライヤー

Tier 1の先のサプライヤーのデータが仮定、見積り、又は他の不確実性を含む方法に基づいているかを開示しなければならない

# 気候関連の産業別指標を開示するまでの流れ(1)

## 適切な産業の 選択



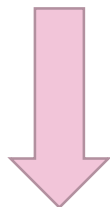
- ❖ S2基準案の付録B「産業別開示要求」B1巻からB68巻は、SASBスタンダードの「Sustainable Industry Classification System®」(SICS®)のうち、気候関連の指標がある**11セクター・68産業**で編成されている
- ❖ 企業は、単一又は複数の産業を識別しなければならない (S2基準案 B8項)
- ❖ 企業が複数の産業にまたがる可能性が高い、幅広い活動に参加している場合、複数の産業別要求事項を適用する必要がある可能性がある (S2基準案 B9項)

## 重大なリスク 及び機会の識別



- ❖ 企業は、企業がさらされている**重大な (significant) 気候関連のリスク及び機会**を識別し、記述しなければならない (S2基準案 第9項(a))
- ❖ その際に、企業は、産業別開示要求 (付録B) 中の「**開示トピック**」(特定の産業のリスク又は機会が定義されている)を参照しなければならない (S2基準案 第10項)

## 指標の特定



- ❖ 企業は、「戦略」に関する要求事項を満たすための開示を作成する際、産業横断的指標カテゴリー及び**開示トピックを伴う産業別指標の適用可能性**を参照し、考慮しなければならない (S2基準案 第11項)
- ❖ 一般目的財務報告の利用者が、重大な (significant) 気候関連のリスク及び機会を企業がどのように測定し、モニタリング及び管理するのかについて理解できるよう、企業は、**付録 B「産業別開示要求」において定められている産業別指標を開示**しなければならない (S2基準案 第19項、第20項(b))
- ❖ 企業は、企業がさらされている**気候関連のリスク及び機会を適正に表示する**という視点を持って、関連するフルセットの産業別要求事項を**すべて参照**しなければならない (S2基準案 B16項)

(次頁に続く)



# 気候関連の産業別指標を開示するまでの流れ(2)

(前頁からの続き)

指標の特定

- ❖ 定量的情報の開示に係る産業別要求事項が、産業横断的指標カテゴリー（S2基準案 第21項(a)から(e)）に関連する開示の要求事項を満たすか確認し検討しなければならない（S2基準案 付録B B15項）

産業横断的指標カテゴリー  
（S2基準案 第21項）

- (a) 温室効果ガス排出
- (b) 移行リスク
- (c) 物理的リスク
- (d) 気候関連の機会
- (e) 資本投下
- (f) 内部炭素価格
- (g) 報酬

産業横断的指標カテゴリーの開示に  
用いられる産業別指標の例

- (c)物理的リスク  
農産物産業における、水ストレスのある地域から供給される主要作物の割合
- (d)気候関連の機会  
化学製品産業における、使用段階の資源効率を考慮して設計された製品から生じた売上高

重要性  
(Materiality)

- ❖ 企業は、特定された指標及び目標が企業の企業価値を評価する上で情報の利用者にとって重要性がある（material）と結論付けた場合、特定の要求事項に関連する情報を開示しなければならない（S2基準案 付録B B6項）
- ❖ IFRSサステナビリティ開示基準で要求される特定の開示に重要性がない（not material）場合には、提供する必要はない（S1基準案 第60項）

# 航空宇宙及び防衛 Aerospace & Defense (RT-AE)

「航空宇宙及び防衛」産業の企業には、商業用航空機、航空機部品、航空宇宙及び防衛製品の製造業者だけでなく、防衛元請業者も含まれる。

商業用航空機の製造業者は産業の売上高のおよそ4分の1を占め、主として商業用航空企業及び政府に販売する。航空宇宙及び防衛部品の製造業者は、産業の最大の総売上高のセグメントとなっており、主に政府に販売している。

航空宇宙と防衛の製造業者は両方とも、グローバルに事業を展開し、グローバルな顧客基盤を有している。

防衛元請は産業の総売上高のおよそ4分の1を占め、軍事用航空機、宇宙船、ミサイルシステム、弾薬、小型武器、海軍船舶及びその他の商業用及び軍事用の車両を製造する。

これらの企業の顧客は、グローバルに事業を展開する、さまざまな政府機関及び関連する企業である。

防衛元請カテゴリーには、法執行機関、企業、流通業者、小売業者及び消費者に販売する銃器の製造業者も含まれる。

この産業における主要なサステナビリティのトピックには、製品のエネルギー効率及び排出プロファイル、並びに製造のためのエネルギー及び廃棄物の管理が含まれる。

トピック	コード	指標
エネルギー管理	RT-AE-130a.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>• (1)エネルギー総消費量</li> <li>• (2)電力系統からの電力の割合</li> <li>• (3)再生可能エネルギーの割合</li> </ul>
使用段階における燃費及び排出	RT-AE-410a.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 代替エネルギー関連製品から生じた売上高</li> </ul>
	RT-AE-410a.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 製品の燃費及び温室効果ガス(GHG)排出に対処するためのアプローチの記述及び戦略の説明</li> </ul>

エネルギーは、航空宇宙及び防衛企業の製造プロセスにとって重要な（critical）インプットである。

購入した電力は、この産業のエネルギー支出の最も大きな部分を占め、次に購入した燃料が続く。使用されるエネルギーの種類、消費量、及びエネルギー管理戦略は、製造する製品の種類によって異なる。

現場で生成した電力の使用、電力系統からの電力、及び代替エネルギーの使用を含む、企業のエネルギー・ミックスは、エネルギー供給のコストと信頼性（reliability）に影響を与える上で重要な（important）役割を果たし、最終的に**企業のコスト構造と規制リスクに影響を与える**（affect）可能性がある。

コード： RT-AE- 130a.1	指標： (1)エネルギー総消費量	測定単位： ギガジュール(GJ)
1	消費したエネルギーの総量をギガジュール (GJ) 単位で集計して開示する	
1.1	すべての供給源からのエネルギーを含める <ul style="list-style-type: none"> <li>• 企業の外部の供給源から購入したエネルギー</li> <li>• 企業が自ら生産した (自己生成の) エネルギー</li> </ul>	
1.2	報告期間中に企業が直接消費したエネルギーのみを含める	
1.3	燃料及びバイオ燃料からのエネルギー消費量を計算する際には、以下のいずれかに方法に基づき、総発熱量 (GCV) とも呼ばれる高位発熱量 (HHV) を使用する <ul style="list-style-type: none"> <li>• 直接測定する方法</li> <li>• 気候変動に関する政府間パネル (IPCC) から取得する方法</li> </ul>	

<b>コード :</b> <b>RT-AE-</b> <b>130a.1</b>	<b>指標 :</b> <b>(2)電力系統からの電力の割合</b>	<b>測定単位 :</b> <b>パーセンテージ (%)</b>
<b>2</b>	<b>消費した、電力系統から供給されたエネルギーの割合を開示する</b>	
<b>2.1</b>	<b>この割合は、購入した電力系統からの電力の消費量について、エネルギー総消費量で除して計算する</b> 計算式の例：購入した電力系統からの電力の消費量 ÷ エネルギー総消費量	

コード： RT-AE- 130a.1	指標： (3)再生可能エネルギーの割合	測定単位： パーセンテージ (%)
3	消費した再生可能エネルギーの割合を開示する	
3.1	再生可能エネルギー：枯渇率以上のペースで補充されるエネルギー源からのエネルギーと定義（地熱、風力、太陽光、水力、バイオマス等）	
3.2	<p><b>この割合は、再生可能エネルギー消費量をエネルギー総消費量で除して計算する</b></p> <p>計算式の例：再生可能エネルギー消費量 ÷ エネルギー総消費量</p>	
3.3	<p>再生可能エネルギーの範囲は以下を含む：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 企業が消費した再生可能燃料</li> <li>• 企業が直接生産した再生可能エネルギー</li> <li>• 企業が購入した再生可能エネルギー</li> </ul>	
3.4	<p>この開示の目的において、バイオマス源からの再生可能エネルギーの範囲は、以下のいずれかの条件に該当するものに限定する：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 第三者の基準で認証された材料</li> <li>• 再生可能エネルギー認証のためのGreen-eフレームワークのバージョン1.0（2017年）又はGreen-e地域基準に従って適格な供給源とみなされる材料</li> <li>• 適用可能な州の再生可能エネルギー利用割合基準（RPS）において適格となる材料</li> </ul>	



コード： RT-AE- 130a.1	補足事項
4	<p>この開示で報告するすべてのデータに対して、換算係数を一貫して適用する 例：燃料使用量のHHVやキロワット時からギガジュール（GJ）への変換</p>

顧客の選好及び規制の強化により、航空宇宙及び防衛産業において、エネルギー効率が高く、排出が削減された製品の需要が高まっている。

この産業の製品の多くは化石燃料を使用しており、使用中に温室効果ガス（GHG）及びその他の排出物を放出する。

グローバルな航空宇宙及び防衛輸送フリートのほとんどを設計及び製造業者として、この産業の企業は、GHG排出及び燃料管理の目標及び義務の達成に努めている多くの産業及び政府機関を支援する独自の機会を有している。

燃費が高く、使用段階の排出が少ない製品は、**拡大する市場シェアを獲得し、燃費及び排出に関する変化する顧客の選好及び規制に適応するための良好なポジションに立つ場合がある。**

コード： RT-AE- 410a.1.	指標： 代替エネルギー関連製品から生じた売上高	測定単位： 報告通貨
1	<b>代替エネルギー関連製品の販売から生じた総売上高を開示する</b>	
1.1	代替エネルギー関連製品には、推進又はエネルギー生成（又はこの両方）の主要な手段として、代替燃料又は代替エネルギーに依存する車両、車両コンポーネント及び固定発電装置などの製品を含める	
1.2	代替エネルギー及び代替燃料には、以下を含める。	
1.2.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 再生可能燃料及び再生可能エネルギー （生態系サイクルを通じて短時間で補充できる供給源からのエネルギーと定義）</li> </ul>	
1.2.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 水素燃料及び燃料電池</li> </ul>	
1.3	<b>燃料源の一つが代替燃料である、電気製品、ハイブリッド電気製品、及びデュアル燃料製品は、開示の範囲内とみなす</b>	

コード： RT-AE- 410a.2.	指標： 製品の燃費及び温室効果ガス(GHG)排出に対処するためのアプ ローチの記述及び戦略の説明	測定単位： 該当なし
1	製品の燃費を改善し、使用段階の温室効果ガス（GHG）排出を削減するためのアプローチを記述し、また戦略について説明する	
2	<p>アプローチと戦略の関連する側面には、以下を含む</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 既存の製品及び技術の改善</li> <li>• 新しい技術の導入</li> <li>• 高度な技術への研究開発の取組み（efforts）</li> <li>• 同業者、学術機関又は顧客（政府機関の顧客を含む）（又はこれらの複数のもの）とのパートナーシップ</li> </ul>	
3.5	関連する場合、開発中の特定の種類の燃料システム（例：ハイブリッド、電気又は燃料電池）といった、自社製品の燃費を改善してGHG排出を削減するために優先する技術について説明する	
4	これらの取組み（efforts）に影響を与える要因を記述する	

コード	活動指標	カテゴリー	測定単位
RT-AE-000.A	報告セグメント別生産量	定量	数
RT-AE-000.B	従業員数	定量	数

